

山形県感染症発生動向調査

令和3年第33週(令和3年8月16日~令和3年8月22日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所) TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486 URL http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/ 2021年8月25日 発行



<定点把握感染症>

<定点把握感染症> 													0	:警報レ/	ベル	○ :注意報レベノ				
 疾 患 名	全国	Щ	山形県			山形市保健所			山保健所		最上保健所			置賜保健所		•	庄内保健所		<u>.</u>	累積 (県)
	第32週	第32週	第33週	増減	第32週		増減	第32週		増減	第32週		増減	第32週		増減	第32週	第33週	増減	第1~33週
インフルエンザ定点(定点医	療機関数) T		(45)			(10)	l		(10)			(4)			(9)			(12)		
インフルエンザ				-			-													66
小児科定点 (定点医療	機関数)		(29)			(6)			(7)			(3)			(6)			(7)		
RSウイルス感染症	7469 2.46		100 3.45	•	30 5.00	23 3.83	•	37 5.29	39 5.57	Δ	30	10 3.33	\triangle	17 2.83	16 2.67	•	26 3.71	12 1.71	∇	2780
咽頭結膜熱	389 0.13		9 0.31	∇		2 0.33	Δ	1 0.14	2 0.29	A				12 2.00	5 0.83	∇				338
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	907 0.30		10 0.34	A				3 0.43	5 0.71	Δ				4 0.67	5 0.83	A			-	962
感染性胃腸炎	4495 1.48		32 1.10	Δ	7 1.17	8 1.33	Δ	4 0.57	3 0.43	•	1 0.33	0.33		12 2.00	14 2.33	A	3 0.43	6 0.86	Δ	2120
水痘	205 0.07		6 0.21	•				0.14		∇					6 O1.00	Δ			-	84
手足口病	612 0.20		2 0.07			1 0.17	Δ	2 0.29	1 0.14	•										49
伝染性紅斑	0.01	1 0.03	1 0.03	-		1 0.17	Δ	0.14		∇									-	14
突発性発しん	708 0.23		20 0.69	Δ	0.17	3 0.50	•		4 0.57	Δ	0.33		•	0.67	10 1.67	Δ	0.14	3 0.43	Δ	469
ヘルパンギーナ	610 0.20		6 0.21	- V										7 1.17	6 1.00	•				359
流行性耳下腺炎	159 0.05		2 0.07	Δ		1 0.17	Δ										0.14	1 0.14		44
眼科定点 (定点医療	機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)		
急性出血性結膜炎	2 0.00			_															_	0
流行性角結膜炎	94 0.14	1 0.13						1 0.33		∇										36
基幹定点 (定点医療	機関数)		(10)			(2)	ı		(2)			(1)			(2)			(3)		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.00																		-	1
クラミジア肺炎																			-	0
マイコプラズマ肺炎	0.03																			4
細菌性髄膜炎	7 0.01																		-	2
無菌性髄膜炎	8 0.02																		_	0

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症>

		報	告	数		***
	山彩市	村山	最上	置賜	庄内	備考
結核	1	1			1	※内、第32週追加報告 1人
腸管出血性大腸菌感 染症	1			3		型別:O121 VT2(1)、O157 VT2(1) VT1VT2(1)VT型不明 (1)。
レジオネラ症					1	
カルバペネム耐性腸 内細菌感染症	1					※90日以内の海外渡航歴無し。
侵襲性肺炎球菌感染 症	1					※ワクチン接種歴無し。

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの 運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外 となりました。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。 (QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。 ※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

- 30 1/2 C 0			
疾 患 名	警報し	注 意 報	
疾 患 名	開始	終息	レベル
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	合計
インフルエンザ	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~									0
小児科定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~	合計
RSウイルス感染症	8	17	23	29	8	8	4	2	1						100
咽頭結膜熱			4	2						1	1	1			9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					2	1	2		1	1	1	1	1		10
感染性胃腸炎		5	7	3	1	2	1	1	1	2	2	6	1		32
水痘						1			3	1	1				6
手足口病								1		1					2
伝染性紅斑			1												1
突発性発しん		3	14	3											20
ヘルパンギーナ			1	2	1	1	1								6
流行性耳下腺炎							1					1			2

< 令和 3年 7月 月報 >

2021年8月18日 発行

疾 患 名		Ш Ж	彡県	山 飛保 係	形 市 建 所	村 保 (山 東 所	最 上 保 健 所	置保健	賜所	庄 保 俊	内	累積(県)
		6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月 7月	6月	7月	6月	7月	1~7月
STD定点 (定点医療機関数)		(10)		(3)		(1)		(1)	(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	20	19	8	5	3		2	3 5	•	4	9	108
	定点当り	2.00	1.90	2.67	1.67	3.00		2.00	1.50	2.50	1.33	3.00	108
性器ヘルペスウイルス	報告数	7	19	1	6		1	5	5 4	-	1	3	67
感染症	定点当り	0.70	1.90	0.33	2.00		1.00	5.00	2.50	2.00	0.33	1.00	
 尖圭コンジローマ	報告数	3	2	1				2	1		1		10
大工 コンソローマ 	定点当り	0.30	0.20	0.33				2.00	0.50		0.33		
淋菌感染症	報告数	4	2	1							3	2	17
/	定点当り	0.40	0.20	0.33							1.00	0.67	1 /
基幹定点 (定点医	療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)	(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌	報告数	4	6	2	2			1 2			1	2	29
感染症	定点当り	0.40	0.60	1.00	1.00			1.00 2.00			0.33	0.67	29
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	18	15	2	1	1	2	2	1		12	12	124
	定点当り	1.80	1.50	1.00	0.50	0.50	1.00	2.00	0.50		4.00	4.00	124
古文 孟州公理古武沙(宁	報告数												
薬剤耐性緑膿菌感染症	定点当り												0

<トピックス>

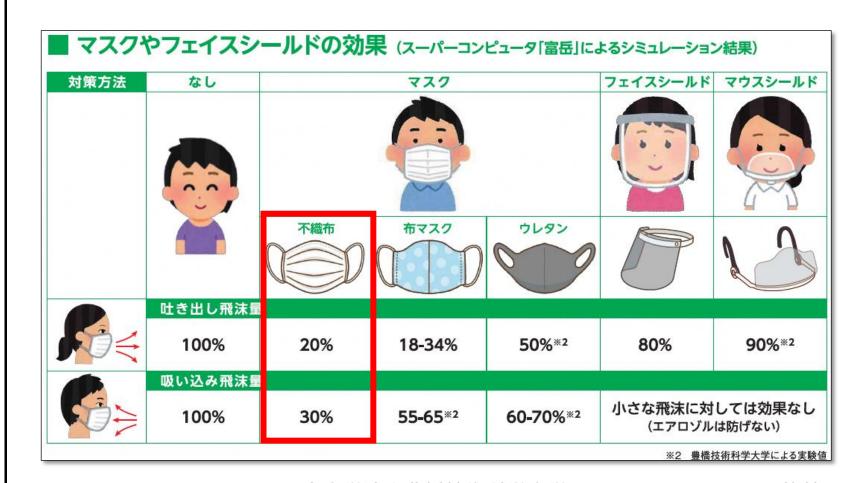
新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください

県内では、新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。 若年層や子どもの感染が多く、クラスターの発生も見られます。 2学期を迎え、より感染対策を強化して安心して生活できる環境を整えましょう。人と人との距離を確保し、特に食事中の会話を控えるなど、よりいっそうの対策をお願いいたします。

効果的にマスクを使用しましょう

新型コロナウイルスの感染を防ぐためには、マスクの着用やこまめな手洗い、消毒、三密の回避、換気の励行など基本的な感染防止対策が重要です。

特に、マスクについては飛散防止効果の高い不織布マスクを使用することが推奨されます。2回のワクチン接種を終えた後に新型コロナウイルスに感染した事例も複数確認されていますので、ワクチン接種後の方も引き続きマスクの着用をお願いします。



国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Releaseより抜粋

